

第2回鹿野地域振興会議議事概要

日 時 平成29年5月24日（水） 午後1時30分～午後3時30分

場 所 鹿野町総合支所 会議室

【出席委員】

山田薫委員、小川義和委員、林輝幸委員、佐々木千代子委員、筒井洋平委員、田中文子委員、伊井照幸委員、山本章委員、山下直司委員、池原美穂委員、兼平恵委員、向井健太郎委員 12名出席

【欠席委員】

なし

【事務局】

徳岡支所長、乾副支所長、岡田産業建設課長、上野市民福祉課長、西浦地域振興課補佐、竹氏地域振興課次長

【傍聴者】なし

【日程】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告

（1）経過報告について

事務局より資料1に基づき経過報告

4 議題概要

（1）地域内情報伝達設備事業について

事務局より資料2に基づき説明。

補足説明として、鹿野地域はH30に補助対象として予定している。スムーズな事業への取組を推進するため、各集落の早めの意思表示（どの設備を導入したいのか）をお願いしたい。

委員1 地区自治会長会への説明は行ったのか？

事務局 行っていません。事業の詳細説明については、鹿野ではこの地域審議会が初めて

です。

委員 2 音声告知端末設置事業は、個人が行うのか。

事務局 導入希望は個々の意向となるが、支援事業への取組は各自治会で行っていただくこととなります。

委員 1 各自治会のなかで有線放送設備を持っているところは何カ所あるか。

事務局 鹿野地域では 4 6 自治会のうち 2 4 自治会が所有しています。

委員 1 有線放送設備の方が音声告知端末機器に個人加入するより、自治会全体への情報伝達が有利だと思う。

委員 3 有線放送設備には初期投資に上限で 2 5 0 万円の補助が出るが、全体の事業費の 1/2 補助となると、自治会も多大な費用負担が発生するおそれがある。

委員 2 音声告知端末設置事業の「補助率 1 0 の 1 0」がわかりにくい。要するに、個人負担が 1 万円だということであろう。標準工事費と機器代で 29, 160 円必要だが、設置に当たっては 10, 000 円の負担金が必要である。

委員 4 エリア指定でその自治会だけの情報伝達はできるか。また、音声告知端末機器では、誰もが放送できるとなると問題は起こらないか。放送時間が重複した場合も大丈夫か。

事務局 鹿野地域全体でも、地区単位でも、その自治会単位でもできます。ただ、CATV 事業者へ放送（録音）予約する際に暗証番号が必要であるため、誰もができるわけではありません。また、放送予約が同時刻に重複した場合は、早く録音した順に流れます。いずれにしても、なんらかのルール作りが必要です。

委員 2 地域への今後の周知はどうするのか？

事務局 地区ごとに説明会を開催する予定です。

(2) 鳥取西道路のトンネル及び橋梁名称について

事務局より資料 3 に基づき説明

委員全員が原案の名称で同意する。

(3) 委員提案について

委員より資料 4 に基づき説明

① 鹿野町所有の文化財について

事務局 あおや郷土館での安全な作品展示ができるようです。今後のあおや郷土館の年間計画の中で協議したいと思います。寄託については作品の管理保管庫のスペース等を考慮したいと思います。鹿野往来交流館でも作品展示について検討していきます。

② 鹿野バイオセンターについて

事務局 制度により、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの期間、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会へ無償貸付しました。ハウス部分は現在除草して使える状況になっています。今後の利用状況に期待しているところです。

(4) その他

- ・仮称「気高道の駅」整備基本設計について

事務局より資料5に基づき説明

委員1 道の駅の活性化も必要だが、道の駅だけでなく、鹿野地域にいかにして来ていただくかが課題だ。地元目線の考えではパイは一緒であり、ミニスーパーができた程度のことになる。

委員2 「地域の方が行くような道の駅でないといけない」という意見もある。

委員3 道の駅を周遊するドライブの楽しみ方がある。道の駅の競合が始まっていて、特徴のあるものでないといけない。目玉となるようなものがほしい。

また、道の駅は出入り口であり、鹿野へ来てもらう魅力を持つことが必要だ。

委員1 道の駅は目的地への休憩場所である。鹿野へ来る目的を持ってもらうこと。鹿野地域の「売り」が必要だ。

委員4 鹿野は「山陰の小京都」である。そこを売り出してはどうか。道の駅の専門雑誌も出版されている。

また、重山集落の横断歩道の位置が変更されている。そうすると県道の歩道が狭いことも課題となる。

事務局 県道の交通量が多くなることでの対応について、警察・鳥取県・地元の方と協議をしています。県道の歩道等についても検討していきます。

- ・鹿野地内美装化舗装修繕計画について

事務局より資料6に基づき説明

委員1 現在のカラー舗装が傷んだ原因はわかっているのか。

事務局 カラー舗装のはがれが多いところは、工事業者と工事時期が一緒であった。自然環境に近い色や材質にしたために、はがれやすい状況になったと思う。今回は、アスファルトの素材についても充分検討していきます。

・小鷲河地区公民館新築のイメージについて

事務局より資料に基づき説明

委員1 現在使われている地区公民館は残すのか。

事務局 木工教室などの利用施設として残します。

委員2 外にトイレがほしい。

事務局 外トイレは管理が難しいため、設置できませんでした。地区公民館内のトイレを利用してもらいたい。

5 その他

7月開催の第3回鹿野地域振興会議は鳥取西ブロック会議として7月26日(水)午後1時30分より鹿野町総合支所会議室で開催予定

6 閉会